



# むすび便り 2021年8月号

## ～野菜も草も成長の季節～

梅雨が明けると、まるで太陽との距離が近づいたかのように、じりじりと痛いくらいの日差し。畑でも暑さ対策で夏時間を開始。来れる方は朝6時半～の涼しい時間帯に作業をしています。早朝は霧がかかっていたり、里芋の葉に朝露が玉になっていたりと、涼しくて気持ちが良いです。夏休みなので、畑や出荷場に大きな年齢のこどもたちの数も増え、毎日にぎやかです。選別作業の横でトマトを心待ちに待っていたり、軽トラの荷台に乗ったり、大きな穴を掘って畑の支柱とシートで縄文式住居(?)をつくったり。今年はいくつかの野菜の苗や芽が虫に食べられ、何度もまき直した野菜も多かったのですが、モロッコなどはちょうど時差式にとれたりも。夏野菜をたっぷり食べて、元気に夏を乗り越えたいものですね。

### 農家の8月

信州は寒さが早いので、秋冬の種まきが早々にスタート。秋取りのキュウリやインゲン、夏野菜の剪定、草取り、下旬はキャベツやブロッコリー類の定植などがあります。葉が枯れたら、じゃがいも掘りも☆



里芋の葉



梅雨の雨降りの中、濡れてツヤツヤに輝く夏野菜。カッパを着て畑に立てば、カッパに跳ねる雨音が心地よく、雨の恵みを嬉しく思う。やがて雨がやみ、松本平から雨雲が離れてゆく光景が眼下に広がる...天空の畑。それはとても幻想的な光景です。今は梅雨が明け、毎日夏空の畑。全身で季節を感じながら、畑の真ん中で収穫と調整作業は続きます。(内田)

### むすびの森③ オオムラサキ

夏の虫と言えば、カブトムシやクワガタですが、オオムラサキという蝶も暑い夏にしか出会えません。里山の雑木林に住む日本の国蝶で、非常に美しく、花の蜜ではなく樹液を吸います。メスは地味な茶色ですが、オスは青紫色なのでオオムラサキという名がついています。この幼虫がとても愛嬌ある顔で、2本のツノがあり可愛くて人気があります。エノキという木の葉しか食べず、葉と同化して森の中で見つけるのは難しいですが、この木を見つければ私はいつこの幼虫を探してしまいます。この昆虫に興味をもたれた方は山梨のオオムラサキセンターがお勧めです！ドームの中で人工繁殖させたオオムラサキの乱舞を見ることができますよ^\_^ (中島)

